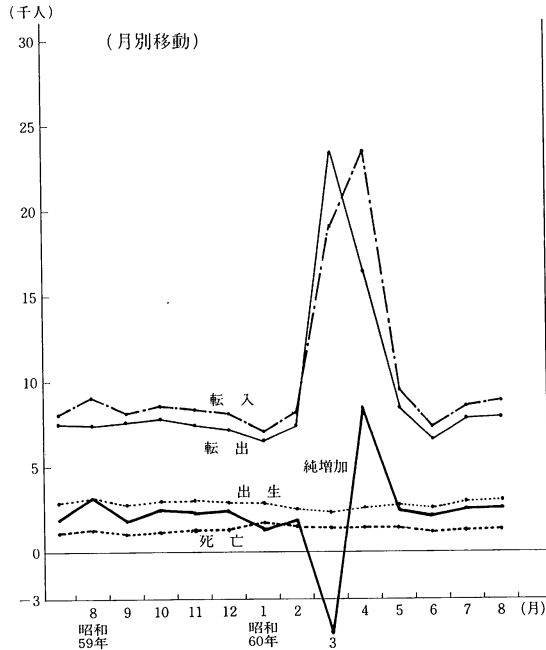


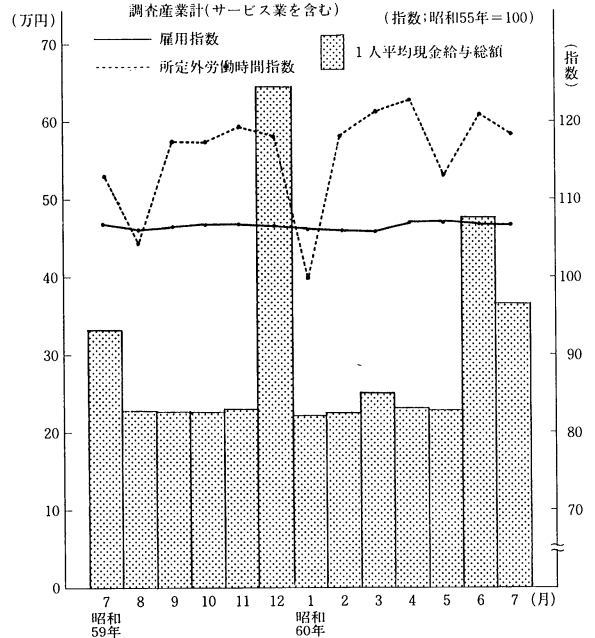
●今月の主な動き

今月の主な動き

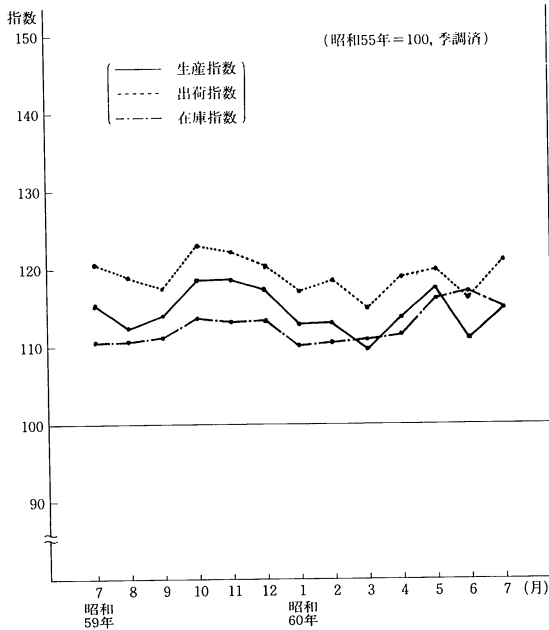
人 口



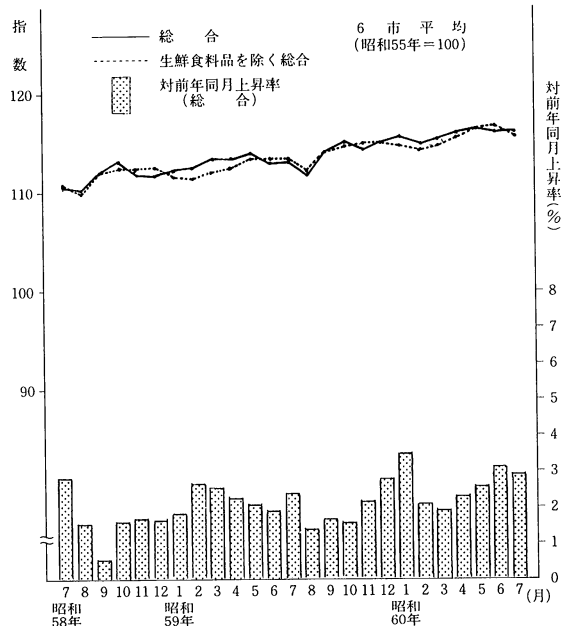
賃金・労働時間・雇用



鉱工業指数(生産・出荷・在庫)



消費者物価指数



主な動きのあらまし …………… 企画部統計課

■人口(9月1日)

本県の人口は、8月中に2,626人増加し、9月1日現在で2,714,931人となった。昨年9月1日と比較すると、26,221人(0.98%)の増加である。

内訳は、自然動態で1,664人(出生2,979人、死亡1,315人)、社会動態で962人(転入8,805人、転出7,843人)、それ

ぞれ増加した。

市町村別では、増加が14市57町村、減少が4市14町村、増減なしが3村である。

世帯数についても、760世帯増加して、761,477世帯となった。

■賃金・労働時間・雇用(7月)

1. 平均賃金の推移

7月の常用労働者1人1ヵ月平均現金給与総額は364,490円で前月に比べ23.5%減(前年同月比12.4%増)であった。

このうちきまって支給する給与は230,559円で前月に比べ0.9%減(前年同月比3.4%増)であり、特別に支払われた給与は133,931円で前年同月に比べ25,597円増であった。

2. 労働時間

総実労働時間数は186.2時間で、前月に比べ1.5%減(前年同月比0.3%増)であった。

このうち所定内労働時間数は167.5時間で、前月に比べ1.4%減(前年同月比0.1%減)であり、所定外労働時間数は18.7時間で、前月に比べ2.1%減(前年同月比4.9%増)であった。

3. 雇用の動き

雇用の動きを雇用指数(昭和55年=100)によってみると、106.9で、前月に比べ0.2ポイント減、前年同月に比べ0.1ポイント増であった。

■鉱工業指数<生産・出荷・在庫>(7月)

本県における昭和60年7月の“鉱工業指数”(昭和55年=100)は、季節調整済指数で、生産が114.5、出荷が120.7、在庫が114.3で、前月比は、生産が3.4%の上昇、出荷が4.3%の上昇、在庫が2.1%の低下であった。前年同月比(原指数)は、生産が0.2%の低下、出荷が0.4%の上昇、在庫が3.5%の上昇であった。

業種別にみると、生産では、一般機械、化学、金属製品等が上昇し、鉄鋼、輸送機械等が低下した。出荷では、一般機械、食料品・たばこ、非鉄金属等が上昇し、窯業・土

石製品、鉄鋼等が低下した。在庫では、精密機械、パルプ・紙・紙加工品、一般機械等が上昇し、石油・石炭製品、鉱業等が低下した。

特殊分類別にみると、生産では、資本財、建設財等が上昇し、その他用生産財、非耐久消費財が低下した。出荷では、資本財、建設財等が上昇し、その他用生産財、耐久消費財が低下した。在庫では、資本財が上昇し、非耐久消費財、その他用生産財、建設財等が低下した。

■消費者物価指数(7月)

昭和60年7月の茨城県消費者物価指数は、総合指数で116.4(昭和55年=100)となり、前月と変わらず、対前年同月比2.9%の上昇となった。

今月上がった主な項目……野菜・海藻13.0%、魚介類2.7%、油脂・調味料1.6%、乳卵類0.9%、家賃0.7%、教養娯楽耐久財0.7%、交通0.6%

今月下がった主な項目……果物△10.5%、衣料△7.2%、シャツ・下着△2.7%、自動車等関係費△0.9%、生地・他の被服類△0.7%、他の教養娯楽△0.6%

費目別指数

(昭和55年=100)

区 分	指数	上昇率(%)		区 分	指数	上昇率(%)	
		対前月	対前年同月			対前月	対前年同月
総 合	116.4	0.0	2.9	保健医療	116.8	0.1	7.5
食 料	116.6	1.2	2.1	交通通信	111.5	△0.2	2.8
住 居	117.7	0.4	4.7	教 育	140.2	0.0	4.4
光熱・水道	108.3	△0.1	△0.6	教養娯楽	117.0	△0.4	2.5
家具・家事用品	110.4	0.4	4.2	諸 雑 費	114.3	0.1	1.5
被服及び履物	118.2	△4.3	5.8	生鮮食品を除く総合	116.2	△0.4	2.7